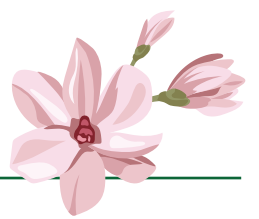


## 「スーパーSTG」の原材料



### ジシバリ (苦茶草)



肝機能を助け、気の滞まりを疎散してくれます。  
肝臓の炎症を抑える。そして、夏バテ予防させます。

### ノミノフスマ



血液循環を良くして、生理不順や痛みを解消してくれます。  
体内の湿気を除く、目の疲れや利尿効果など。

### センダングサ



夏バテや体内の湿気を取り除く、血液循環を良くしてくれます。

### 月下美人



体内の躁熱を解消し、降熱、解毒など。

### ミカンの種



肝機能を高める、うつ症状や気の滞まりを疎散してくれます。

### 白桃花エキス末



「桃」は、種子(桃仁)が漢方薬として利用されていました。「桃仁」は血の巡りを良くして、腸を潤す働きがあり、月経不順、月経痛を治し、便秘を整えるのに効果的です。  
「桃花」は民間薬として、「水腫(むくみ)、脚気、便秘、閉経の予防」に利用されてきました。特に、大腸に直接働きかけて宿便(滞留便)を促す事が認識されています。

### ハトムギエキス末



「ハトムギ」は漢方では「ヨクイニン」と呼ばれ、古くから「肌荒れ」「イボ」に使用されています。全身の水分の巡りをよくし、水毒体質の改善をはかり、清熱排膿の働きがあります。

※水毒とは：水分の大量摂取で、血液中のナトリウム濃度が低下し、めまい・頭痛頻尿疲労感・浮腫(むくみ)、下痢などを起こす。

※清熱・排膿とは；清熱は身体の内部の熱をさますこと。表面の熱を冷ますことを解熱という。排膿は膿を排出する働き。

### ヒュウガトウキ (日本山人参)



#### 主な効果効能

糖尿病の予防と改善 慢性炎症の抑制  
高血圧の抑制 性機能の活発化  
アレルギー障害に有効 ガンの予防  
動脈硬化の予防 肝臓障害の予防と改善  
抗ストレス作用 免疫力の賦活作用

#### 慢性病や難病に効果を発揮する健康長寿の霊薬

ヒュウガトウキという薬用植物は、世界中を探しても、宮崎県と大分県の山岳地帯にしか自生していません。江戸時代から旧薩摩地方で「神の草」とされ、ひそかに民間薬として利用されていた薬草で、日向の地にしか生息しない「ヒュウガトウキ」は、その薬効から日本版朝鮮人参「日本山人参」とよばれています。

#### 【動脈硬化改善効果】

ヒュウガトウキには血小板の凝固作用を抑制する効果があるとされています。

血液のドロドロ化を防ぎ、サラサラ化を促進する効果があり、動脈硬化を予防、心筋梗塞や脳梗塞、心不全や腎不全などの予防にもつながると期待されています。

#### 【癌(がん)予防効果】

ヒュウガトウキにはナチュラルキラー(NK)細胞などの免疫力を向上させ、発癌(がん)の抑制や進行の遅延効果が期待されます。

### 霊芝(れいし)



#### 主な健康効果

免疫力を高める効果  
ガンを予防および抑制する効果  
生活習慣病の予防・改善効果  
高血圧・低血圧を改善する効果  
神経機能を正常に保つ効果  
アレルギー症状を緩和する効果  
便秘を解消する効果

サルノコシカケ科に属する薬用キノコに、カワラタケやマンネンタケ、イワタケなどがあります。霊芝は、この中のマンネンタケのことを言い、約2000年前に編纂された中国最古の薬物書「新農本草経」には、不老長寿に用いる副作用のない上薬に分類されています。

1972年(昭和47年)、当時京都大学食糧科学研究所の直井幸雄氏が、世界で初めて、「霊芝」の人工栽培に成功し、諸外国でも栽培されるようになりました。今も多方面からの基礎研究や臨床研究が行われており、薬理、成分、効能などが解明されつつあります。これらの論文や文献を参考に、動脈硬化の予防、抗腫瘍作用(ガンの予防)について以下に紹介します。

#### 【動脈硬化を予防】

血圧を安定させ、特に拡張期血圧(最低血圧)を下げる作用が認められ、高脂血症を改善します。悪玉コレステロールや中性脂肪を低下させ、高コレステロール血症による動脈硬化を予防する働きがあります。又、血栓を防いだりする作用が確認されています。

#### 【抗腫瘍作用(ガンの予防)】

免疫を高める作用があります。悪性腫瘍や免疫不全の治療に用いるインターロイキン2の産生を高め、免疫系が活性化されます。又、抗腫瘍作用があります。ガンなどを抑制するNK細胞の活性を強めるほか細胞免疫を活性化します。

三重大学医学部薬理学教室の研究グループは、霊芝がマウスの腫瘍に対して、抗腫瘍作用があることを世界で最初に報告しています。

### 高麗人参



#### 主な健康効果

低血圧を予防する効果  
貧血を予防する効果  
動脈硬化を予防する効果  
脳の機能を改善する効果  
ストレスをやわらげる効果  
感染症を予防する効果  
冷え性を改善する効果  
美肌効果

高麗人参(学名: Panax ginseng C.A. Meyer)は、日本ではオタネニンジンや朝鮮人参とも呼ばれる、ウコギ科の多年生植物。高麗人参(朝鮮人参)の健康成分「ジンセノサイド」は、「花と実」の部分よりも、「根」の部分にバランス良く含まれています。一般的には、「根」の形が人の身体に似たものほど珍重されています。

高麗人参の効能・効果には疲労回復・滋養強壮・病後の体力回復・虚弱体質の改善・低血圧症の改善・皮膚病の改善・風邪予防・血流改善・癌(がん)の予防・糖尿病の予防・更年期障害の緩和など様々な健康効果を持つとされます。中国では古くから不老長寿の薬として利用されていて日本でも「日本薬局方」に高麗人参の効能・効果が記載されています。又ドイツ連邦保険庁にあるハーブを医薬品として利用する場合の効果と安全性を検証する専門委員会(ドイツコミッションE)が高麗人参は疲労回復・衰弱病後の回復を目的にした使用が承認されています。

#### 【動脈硬化を予防する効果】

動脈硬化は加齢による老化などが原因で、動脈にコレステロールや脂肪が蓄積し、血管がつまり、弾力性を失ってしまう病気です。動脈硬化が進行すると、脳梗塞や心筋梗塞などを引き起こします。高麗人参は中性脂肪の値を下げ、コレステロールの分解・排出を促進するため、動脈硬化を予防する効果があります。

#### 【脳の機能を改善する効果】

高麗人参に含まれるサポニンの一種ジンセノサイドが、外界や体内の刺激を受け取る脳内受容体を刺激し、加齢による認知機能の低下を防ぐ効果が期待されています。

認知機能とは、外部からの情報に対する考え方や、受け取り方のことで、高次的な脳の機能を指します。

認知機能の低下を予防する効果について、40歳以上の健常者112名に2ヵ月間「高麗人参」を摂取させると、抽象的思考や物事への反応時間などが改善したという、研究結果もあります。